

授業科目	看護マネジメント論				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NU31606J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-3			
担当教員	隅田 由加里							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>2年次での看護マネジメント総論では、マネジメント(看護管理)の基礎的知識を学んだ。4年次では、さらに今までに学修した既存の知識を活用し、マクロ的視点から見たわが国の保健医療福祉の動向を踏まえ、臨床現場で行われている医療・看護のマネジメントの実際と課題を、看護マネジメントの概要を基盤に、「医療安全管理(事故防止・感染防止管理)」と「入退院調整管理」を通して学修し、多職種との連携・協働、チーム医療の具体的な手法を思考していく。本授業を通して、病院という組織が効果的・効率的な医療・看護を提供するためにどのような枠組みを構築しているのか、多職種間の連携・協働の実際においてはどのようなコミュニケーションスキルを活用し問題解決に向けた取り組みを実施しているのか、そしてその中における看護師の存在意義や役割についての理解を深めていく。さらにマネジメントを実践するための資源の利活用と、リーダーシップ・メンバーシップをはじめとするコミュニケーションスキルの重要性についても取り上げる。本授業は講義とグループワークを併用し、医療・看護マネジメントの理解を深めることを目的としている。</p> <p>担当者は、実務家教員として福岡県看護協会認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」まで修了し、長きにわたり看護管理者としてマネジメントを実践してきた経験をもつ。また福岡県看護協会 医療安全管理者養成研修と感染管理者コースも修了している。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 2年次で学修した看護マネジメントの基礎的知識を振り返り、医療・看護マネジメントの定義とプロセス、組織構造、資源管理とその利活用に関する知識を修得することができる。 質の高い医療・看護を効果的・効率的・創造的に提供するために、「医療安全管理」「入退院調整管理」の事例を通して、看護マネジメントのプロセスである「計画化」「組織化」「人事化」「指揮」「統制」を、情報や知識を活用し論理的に思考できる。 自立した女性として、生涯を通じて看護職として社会貢献できるよう、組織における看護師の存在意義を思考する意欲をもっている。 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、グループメンバー間で協力する意欲をもっている。 看護専門職となることを自覚し、限られた時間の中で倫理に基づきグループメンバーとともに課題に取り組む行動がとれる。 わが国の保健医療福祉の現在の動向を踏まえ、医療・看護のニーズを満たすために必要なマネジメントという概念を学び続ける姿勢を身につけている。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	30	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	35		0				35	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	25		20		0		45	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5				5	
関心・意欲 (DP3-2)			5		0		5	
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)						5	5	
技能・表現 (DP5-1)								

技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル					標準的なレベル			
<p>1. 2年次で学修した看護マネジメントの基礎的知識を振り返り、医療・看護マネジメントの定義とプロセス、組織構造、資源管理とその利活用に関する学びが記述できる。</p> <p>2. 質の高い「医療安全管理」「入退院調整管理」を効果的・効率的・創造的に提供するためのマネジメントの方策を、看護マネジメントのプロセスである「計画化」「組織化」「人事化」「指揮」「統制」の視点で、様々な情報や知識、資源を活用し論理的に思考し記述できる。</p> <p>3. 自立した女性として、生涯を通じて看護職として社会貢献できるよう、組織における看護師の存在意義を思考する意欲をもち、自身の見解を記述できる。</p> <p>4. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、リーダーシップを図りグループの課題解決のため取り組むことができる。</p> <p>5. 看護専門職となることを自覚し、限られた時間の中でセルフマネジメントを実践し、自己の成長を考え、倫理に基づいた節度ある行動のもとグループメンバーとともに自発的に積極的に課題に取り組むことができる。</p> <p>6. わが国の保健医療福祉の現在の動向を踏まえ、医療・看護のニーズを満たすために必要なマネジメントという概念を学び続け、マネジメントの必要性・重要性について自身の見解を記述できる。</p>					<p>1. 2年次で学修した看護マネジメントの基礎的知識を振り返り、医療・看護マネジメントの定義とプロセス、組織構造、資源管理とその利活用に関する学びを述べることができる。</p> <p>2. 質の高い「医療安全管理」「入退院調整管理」を提供するためのマネジメントの方策を、看護マネジメントのプロセスである「計画化」「組織化」「人事化」「指揮」「統制」の視点で、様々な情報や知識、資源を活用し、自身の意見を述べることができる。</p> <p>3. 組織における看護師の存在意義を思考する意欲をもち、自身の意見を述べることができる。</p> <p>4. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、メンバーシップを図りグループ課題に参加することができる。</p> <p>5. 看護専門職となることを自覚し、倫理に基づいた節度ある行動のもとグループメンバーとともに課題に取り組むことができる。</p> <p>6. わが国の保健医療福祉の現在の動向を踏まえ、医療・看護のニーズを満たすために必要なマネジメントについて自身の意見を述べることができる。</p>			
授業計画								
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)				
1	<p>テーマ: 医療・看護にマネジメントが求められる背景と看護マネジメントの基礎的知識の振り返り (講義: 隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の社会保障制度の現状と課題 ・看護マネジメントとは何か ・看護マネジメントの3つのレベル ・組織の重要性 ・資源とは何か(ヒト、モノ、カネ、時間、情報) ・診療報酬の理解と病院経営 * 自身のテーマ組織の決定 	<p>・シラバスとテキストを用いて科目についてのオリエンテーションを実施する。</p> <p>・講義: テキストとスライドによる説明を行う。資料はクラスルームに事前にアップするため、各自で印刷を行うか、PDF 資料を各自のUSB に保存し、授業の際に活用できるように準備を行う。</p>	<p>【予習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年次で学修した看護マネジメント総論で得た知識を再度確認しておく。 ・学修テーマの自己学習 <p>【復習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の講義に該当する部分の復習を行う ・該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。 	【予習・復習】: 60分				
2	<p>テーマ: 看護師が所属する「看護部」の理解と存在意義 (講義・グループワーク: 隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院組織の特徴と看護部の位置づけ ・看護部の組織構造 ・「看護サービス」を管理する意義 ・役割分担 	<p>・講義: 資料を配布したうえで、スライドによる説明を行う。</p>	第1回と同様	【予習・復習】: 60分				

3	<p>テーマ:看護師が所属する「病棟」の理解と存在意義 (講義・グループワーク:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟の存在意義と役割 ・病棟運営(人材育成、労務管理、時間管理、業務管理、物品管理、情報管理) ・役割分担 	第2回と同様	第1回と同様	【予習・復習:60分】
4	<p>テーマ:「医療安全管理(事故防止管理)」から医療・看護サービス管理を学ぶ① (講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理に関する基礎的知識 ・医療事故防止における政策 ・政策から考える医療サービス管理(組織化) ・医療サービス管理を踏まえた看護ケア管理への移行 	第2回と同様	第1回と同様	【予習・復習:60分】
5	<p>テーマ:「医療安全管理(感染防止管理)」から医療・看護サービス管理を学ぶ② (講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止管理に関する基礎的知識 ・感染防止における政策 ・政策から考える医療サービス管理(組織化) ・医療サービス管理を踏まえた看護ケア管理への移行 	第2回と同様	第1回と同様	【予習・復習:60分】
6	<p>テーマ:「入退院調整管理」から医療・看護サービス管理を学ぶ①:入院支援 (講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院支援に関する基礎的知識 ・入院支援における政策 ・政策から考える医療サービス管理(組織化) ・入院支援に関する連携 	第2回と同様	第1回と同様	【予習・復習:60分】
7	<p>テーマ:「入退院調整管理」から医療・看護サービス管理を学ぶ①:退院支援 (講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院支援に関する基礎的知識 ・退院支援における政策 ・政策から考える医療サービス管理(組織化) ・退院支援に関する連携 	第2回と同様	第1回と同様	【予習・復習:60分】
8	<p>自身のテーマ組織に関する学びの発表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テーマ組織の果たす役割・責務 2. プロセスと活用資源から、テーマ組織のマネジメントを考案する 3. テーマ組織にはどのようなチームリーダー・メンバーの役割があるか 4. テーマ組織におけるマネジメントの課題と、課題の克服する看護におけるマネジメント展望を考案する 	第2回と同様	第1回と同様	【予習・復習:60分以上、レポート課題と筆記試験への取り組みを開始する】
9				
10				
11				
12				

13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>マネジメント(管理)は、単に専門知識を深め、施設や物品を充足させるといういわゆる「ハード面」を整えるだけではうまく機能しません、なぜなら医療・看護を実践するのは人だからです。そしてこの人が行う医療・看護という活動が効果的・効率的・創造的に行われるように、組織構造を形作るマネジメント(管理)を行うのもまた人です。よって人を動かすためには、「ハード面」を整えると同様に、「人間力」といったコミュニケーションなどの「ソフト面」が土台として存在していることが成功要因の重要なカギとなりますので、経営・経済・情報処理などの知識とともに人間関係論、キャリア形成論などの知識を復習しておきましょう。そして本講義を通して、マネジメントにおける基礎的知識の修得とともに、医療や看護という組織化された専門職が仕事に関わる心構え(プロフェSSIONAL意識)の重要性や、コミュニケーション能力、相互理解の重要性なども学んでください。また各病院のホームページ等を見たり、各組織構造や理念や方針などを比較し、各施設の特徴や重要視していることを読み取っていきましょう。さらに自身のテーマ組織を理解し、組織課題を見いだすためにも、テーマ組織の研究論文を精読しましょう。</p>			
テキスト	<p>2年次に購入した 「ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理」(メディカ出版) 「ナースング・グラフィカ 看護の統合の実践② 医療安全」(メディカ出版)</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・井部俊子 中西睦子監修:看護管理学習テキスト 第1巻～8巻、別巻(日本看護協会出版会) ・上泉一子ら編集:系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践① ・中西睦子ら編集:看護サービス管理 医学書院 ・細田満和子:「チーム医療とは何か」医療とケアに活かす社会学からのアプローチ(日本看護協会出版会) ・P.F.ドラッカー著 上田惇生編訳:[エッセンシャル版] マネジメント 基本と原則(ダイヤモンド社) ・岩崎夏海著:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(ダイヤモンド社) 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・杉山良子:ナースのための危険予知トレーニングテキスト(メディカ出版) ・河野龍太郎:医療におけるヒューマンエラー「なぜ間違えるどう防ぐ」(医学書院) ・東京慈恵会医科大学附属病院 看護部・医療安全管理部編著:TeamSTEPSを活用したヒューマンエラー防止策 SBARを中心とした医療安全のコミュニケーションツール(日本看護協会出版会) ・芳賀茂:失敗のメカニズム 忘れ物から巨大大事故まで(角川ソフィア文庫) ・宇都宮宏子:病棟から始める退院支援・退院調整の実践実例(日本看護協会出版会)
<p>授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ</p>	<p>この大学時代が終了したら、皆さんは看護職として社会に巣立っていき、様々な医療機関、または地域の施設や企業に就職すると思います。それらの機関は全て組織化され、組織の目標(質の高い医療・看護を提供する)を達成するために、個人でもチームでも、そして組織全体においてもPDCAサイクルを回しながら、より良い医療サービス提供のために思考し実践しており、皆様もその実践者とならなくてはなりません。そのためには「組織」「経営」「看護サービス管理」などの意味を理解する必要がありますので、この単元を通して学びを深めていってください。またマネジメントとは管理者だけが知り行うものではなく、組織に属するすべての人が実践するものであることを理解してください。そしてその知識や考え方を修得し、総合実習や、来年度からの看護専門職として患者の療養環境のマネジメント実践に役立てていただきたいと思います。</p> <p>また本授業では、優れた経営者の書いた書籍や、コミュニケーション、リーダーシップ・メンバーシップなどの書籍、テーマ組織の研究論文を精読して、組織で働くということについて考え、社会人としてのあるべき姿を模索してください。</p>
<p>達成度評価に関するコメント</p>	<p>筆記試験(60%)、課題レポート(30%)、その他(10%)に位置づけた授業貢献度(10%)で総合的に評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【知識・理解】の看護学科 DP1-2)「看護実践に必要な基本的な知識を修得している。」は、筆記試験(35%)から評価します。 2. 【思考・判断】の看護学科 DP2-1)「健康上の課題を解決するため、情報や知識を活用し論理的に思考・判断できる」は、筆記試験(25%)とレポート(20%)、の内容から総合的に評価します。 3. 【関心・意欲】の看護学科 DP3-1)「自立した女性として、生涯を通じて社会貢献しようとする意欲をもっている。」と DP3-2)「健康支援に関わる人々と協働・連携し、生活の質を維持・向上させようとする意欲をもっている。」は、レポート(10%)から評価します。 4. 【態度】の看護学科 DP4-1)「看護実践者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。」と DP4-3)「社会の変化を捉え、自ら学び続ける姿勢を身につけている。」は、「その他(授業貢献度 10%)」で評価します。 <p>* 試験及びレポートや課題等については、授業の中で提示します。</p> <p>* レポート課題は授業時間内に看護マネジメントに関するテーマと記載方法を提示しますので文献を活用し自身の見解をまとめてください。</p> <p>* 授業貢献度は、主にグループ内におけるリーダーシップ・メンバーシップとしての取り組み、学びの発表内容を総合的に評価します。</p>

